
月が、紅かった。

風唄

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

月が、紅かった。

【Nコード】

N7969A

【作者名】

風唄

【あらすじ】

あの日は、月が、紅かった、そして、俺の…日常は、非日常へと、姿を変える。

（前書き）

私の四作品目になりますm（——）m 短篇ばかりです（^——^ A よければ、最後まで読んでやってください。

あの日は…月が、紅かった、

俺は見た、殺人現場を、

あの日は寒い、冬の夜だった、

俺は、殺人現場を見た、

それも、普通の事件では無い、

連続、猟奇的殺人、ワイドショーでも問題になった事件を、

俺は見た、

暗闇の中、とある山間部の廃倉庫の前、

悲鳴が聞こえた、

女性の悲鳴が、

そのあと、銃声の一つ、

それ以降、悲鳴は聞こえなかった、

俺は恐くなった、

ただ、勇気を振り絞って、中を覗いてみた、

横の、窓から、

そこには、紅い月に照らされた、殺人犯が見えた、

そこには、ワイドショーで聞いた、死体を…ばらしている、犯人が見えた、

鋸で、血を浴びながら、一心不乱に、醜い笑顔を浮かべ、汗をかきながら、死体をばらしている犯人が、

俺は恐かった、

足がすくみ、逃げられなかった、

恐かった、足は動かなかった、

何度も、何度も、何度も、足を動かそうと念じた、

だが、動かない、

全く、動かない、

やがて、犯人は、腕を、一本、切り落とした、

そこで、犯人は、一息ついたのか、切るのをやめ回りを、見渡した、

その、目の先には、俺がいた、

俺の足は言う事を、ようやく聞いた、

俺は屈んだ、

そして、急ぎ、逃げた、

この闇夜だ、懐中電灯にも照らされず、見えなかっただろう、

ただ紅い月が…恐かった、

ある程度、逃げると、後ろを振り返った、

そこには…

紅い月に照らされた、犯人が、こちらを見て、薄く…醜く…そうして、滑稽とも思える、笑いを、浮かべていた、

数日が起った、俺は、忘れようとした、

だが、やつは、忘れさせてはくれなかった、

ある日、やつが、現れた、

夜中に、

家の前に、犯人が、

俺は逃げた、

ひたすら逃げた、

そして、あの廃倉庫についた、

犯人は、あの、醜い笑いを浮かべ、迫って来た、
俺は逃げた、

そのには、先日、血が、残っていた、

パン、と、銃声が響いた、

そこには、犯人の死体がある、

その前には、俺が、銃を握っていた、

また、やってしまった、

俺は、前から、恐かった、

また、人を殺してしまうのを、

だが、血を見た俺は、とまらなかった、

そうして、俺は、殺人鬼に、なった、

あれから、また、殺した、

沢山、沢山、沢山、沢山、

そうして、ある日、俺の、殺人を、見られた、

その時も、紅い月が出ていた、

俺は、探した、

俺を見た、やつを、

そうして、見つけた、

夜、家に行った、

目撃者は、逃げた、

俺は、追い掛けた、

あの、廃倉庫に、

そこで、俺は悟った、

全てを、

パン、また、銃声が、響いた、

そこには、俺の死体、

その前には、醜い笑いを浮かべた、目撃者、

紅い月が、俺を、照らしていた、

紅い月は、連鎖する、

やがて、ある日、廃倉庫を、不動産関係者が、訪れた、

そこには、沢山の死体があった、

白骨化した遺体、腐乱した遺体、まだ、新しい、遺体、

そして、その床は、血が染み付き、一面、真紅だった、

発見者は、警察に連絡した、

ただ、それらは、

精巧に出来た、人形だった

その中で、

いくつか、本物の遺体があった、

男の遺体が、

それらは、皆、痩せ細り、

眉間を打ち抜かれていた

紅い月は、連鎖する。

連鎖する。

（後書き）

最後までお読みいただきありがとうございます、よく考えてみたら三日で四作品書いてます（＾|＾A、次回作の励みになりますので、よければ評価、コメント宜しくお願いしますm（|）m

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7969a/>

月が、紅かった。

2011年1月20日01時32分発行